

令和7年7月記者会見

質疑応答の概要

①第15回全国発酵食品サミット in とみや

Q.

今回、高校生対象のこういったコンテストを初めて開催するというので、改めて開催の狙いを教えてください。また、「ピッチ」とは、どういうことを意味しているのか教えてください。

A.産業観光課長

高校生に、自分の地域の文化や発酵文化を掘り起こし、そしてそれを次の世代へと継承してもらいたいという実行委員会からの思いもあり、今回サミットで初めて高校生を対象としたコンテストを行うこととしました。また、ピッチとはプレゼンテーションのことで、自分たちの発酵文化をパワーポイント等でまとめてもらい、発表していただくというようなコンテスト形式を考えています。

②養育費確保支援事業の実施

Q.

予算は、どの程度計上しているのでしょうか。

A.子育て支援課長

114万9千円ほど予算化しています。

Q.

これは(2)養育費に関する公正証書等作成促進補助事業と(3)養育費保証契約保証料補助事業を合わせた金額でしょうか。

A.子育て支援課長

はい、すべて合わせた金額でございます。

Q.

こちらの事業は、今年度の支援対象を何名ほど見込んでいるのでしょうか。

A.子育て支援課長

法律相談は3日分、公正証書等作成補助が10名分、保証契約保証料補助が10名分を想定しています。

Q.

3つの事業全てに取り組むのは、県内で富谷市が初めてとありますが、県内には1つや2つやっている自治体はあるということでしょうか。

A.子育て支援課長

はい、3つ全てというのは県内で富谷市が初です。県内では宮城県が町村に居住する方を対象に公正証書作成支援事業を実施しており、仙台市が公正証書等作成促進補助と養育費保証契約保証料補助の2つを行っています。

③富谷市こどもの学習・生活支援事業の実施

Q.

対象家庭は何世帯くらいでしょうか。

A.子育て支援課長

およそ200から250世帯です。

Q.

これは小学1年生から3年生までは対象外という事でしょうか。対象外とした理由はありますか。

A.子育て支援課長

学習支援ということで、不登校や勉強がついていけない子を対象として、4年生からとしたものです。

⑤「水の日」・「水の週間」の取組～富谷配水池のブルーライトアップ～

Q.

今回シンフォニータワーには登れないとのことですが、どのように取材すればよろしいですか。

A.上下水道課長

今回はブルーライトアップということで、間近ではなく少し離れたところから市民の皆さんとともにご覧いただければと思います。

⑦放課後子ども教室「レゴブロックで住みたくなるまち日本一をつくろう！」

Q.

申込が多かったとのことですが、定員30名に対してどれくらい申込があったのでしょうか。参加人数は増やさず実施するのでしょうか。

A.生涯学習課長

定員30名に対して81名の申込があり、倍率は2.7倍でした。人数は会場の都合により、増やさずに30名で開催予定です。

その他の案件

Q.

本日県内に津波警報が発令され沿岸の自治体中心に対応していると思いますが、富谷市として何か対応することはありますか。また、どのように注視していきますか。

A.市長

まずは何も被害がないことを祈るばかりです。万が一沿岸部で被害が発生すれば、最大限復旧・復興に向けて支援を行っていきたいと考えております。

Q.

病院誘致については先日、1者提案書提出、1者辞退となりましたが、8月の選定委員会の選定結果次第では、決まらない可能性もあるという事でしょうか。

A.市長

1者であっても、あくまで選定委員会の判断となりますが、7月22日に申請書とともに提出いただいた提案書の内容は、診療科目や救急医療体制など我々が求めているものとなっておりますので、選定していただけることを期待し、選定結果を待ちたいと思います。

Q.

病院誘致については、様々な支援策を打ち出されていたと思いますが、どういったものが応募につながったと考えていますか。

A.市長

応募いただいた理由について直接お話しは伺っておりませんが、用地の無償貸与やイニシャルコスト、運用支援など表明しています。また、併せて富谷黒川4市町村がしっかり連携して、既存の公立黒川病院、黒川医師会、その他医療関係者と連携し、富谷黒川地域でプラットフォームを構築することで、新しい地域の医療体制の方針をお示しさせていただきましたので、その考え方にご賛同いただけたのではないかと考えております。また、県からも最大限支援をいただけるよう依頼し、前向きに支援のご検討をいただいておりますので、そういうところも要因になっているかと思っております。